



平和な世界を願いしめやかに 平泉町戦没者追悼式

町主催の戦没者追悼式が8月9日、平泉ホテル武蔵坊でしめやかに営まれました。

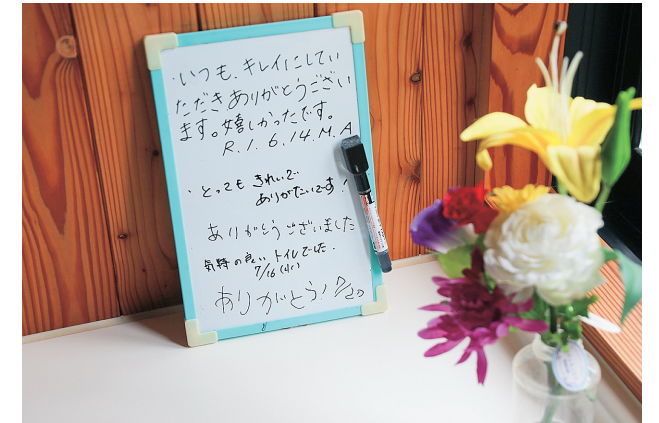
式には遺族や一般町民、来賓ら約90人が参列。黙祷に続き、町遺族会の加藤寛義会長が「悲惨な戦争を教訓として後世に語り継ぐことを誓う」と語りました。また女声合唱団「コール・ファンタジー」が追悼の歌をささげ、最後に参列者全員が祭壇に白菊を手向けて手を合わせながら、戦地で命を落とした先人の冥福と世界の恒久平和を祈りました。



伝言板を通じた心温める交流 13区の館前小公園

中尊寺通りには地域住民や観光客らが休憩できる「館前小公園」があります。その公園内には施設の管理人と業者間で連絡のやりとりをするホワイトボードが設置されていました。現在そのホワイトボードにはトイレ利用者から「気持ちの良いトイレでした」「ありがとうございました」などといったコメントが書き込まれるようになったそうです。

観光客が多く訪れる平泉だからこそ、地域住民と観光客らの交流があり、それが町の活性化にもつながっています。



試合会場が平泉に染まる 世界遺産平泉マッチデー

8月17日、宮城県仙台市のユアテックスタジアム仙台で行われたJ1リーグ第23節ベガルタ仙台対川崎フロンターレ戦で「世界遺産平泉マッチデー」が実施されました。

試合前セレモニーでは町内の児童12人がエスコートキッズとしてベガルタ仙台の選手とピッチに入場。スタジアム周辺では観光・物産ブースを設置し、平泉の観光PRや町内の物産品を販売しました。観戦に来た多くの来場者に向けて平泉の魅力を積極的にアピールしました。



県身体障がい者福祉大会会長表彰受賞 県身体障がい者福祉大会が奥州市で開催

平泉町身体障害者協議会(以下、身障協)の伊東次夫さん(6区、写真中央)が、7月12日に奥州市で行われた「第61回岩手県身体障がい者福祉大会令和にきらめく奥州大会」において、団体体育成功労者として岩手県身体障がい者福祉大会会長表彰を受賞しました。

次夫さんは、身障協の監事を歴任されており、「受賞し今までの苦勞が報われたように感じる。これからも障がい者のために頑張りたい」と意気込みを新たにしました。

町内初の10ポイント達成者 健幸ポイント事業

町では、本年度から新たに「健幸ポイント事業」を実施しています。この事業は、町が行う健康づくりに関する教室や講演会、各種検診などへの参加でポイントを付与し、たまったポイントに応じて景品と交換できるものです。

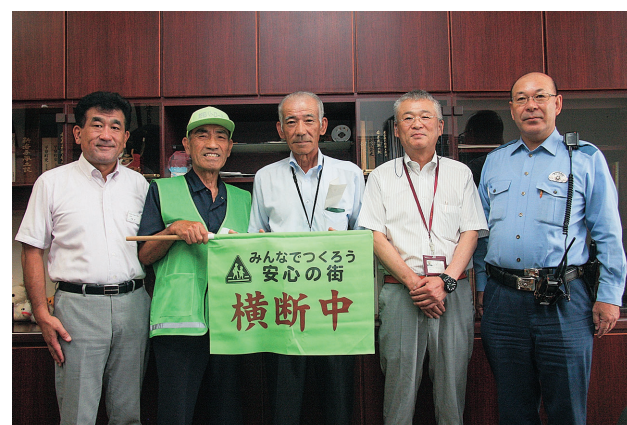
町内で初めて10ポイント達成者となった小山孝子さん(16区)は「検診やサポーター養成講座に参加して10ポイントを達成しました。次は20ポイント目指して頑張ります」と楽しみながら健康づくりに取り組んでいました。



役場庁舎の夏の風物詩「七夕飾り」 グループホームけーせん利用者らが作成

グループホームけーせんの利用者らが作製した青、ピンク、緑色を基調とした七夕飾り3本が役場ホールに飾られました。くす玉の下に細長い和紙などを垂らした長さ約2mの吹き流しが風に揺れ、来庁者の目を楽しませていました。

8月1日に役場を訪れた制作者の1人である鈴木カツ子さんは「職員の皆さんに助けてもらったおかげで作り上げることができた。花紙で作った花を貼る作業が難しかったがきれいに出来て良かった」と笑顔で話していました。



事故防止願い横断旗寄贈 長島駐在所連絡協がスクールガードらへ

長島地区の行政区長や町消防団分団長などでつくる長島駐在所連絡協議会(石川文士良会長代理)が8月21日、長島小学校を訪れ、児童が道路を渡る時に誘導するための横断旗26本を長島地区のスクールガードと長島小学校に寄贈しました。横断旗を受け取った高橋彰長島小学校長は「長島地区は危険な箇所がたくさんあるが、スクールガードの皆さんのおかげで安全安心な登下校ができています。横断旗の寄贈は、児童のなご一層の安全に役立つ。大変ありがたい」と感謝していました。



無事故を願ってくわ入れ 有限会社平安輸送の倉庫新築工事地鎮祭

有限会社平安輸送の倉庫新築工事地鎮祭が8月5日、建設予定地である高田前工業団地内で行われました。地鎮祭には同社関係者や町、施工業者の代表ら23人が出席し、工事の安全と早期完成を祈願しました。

同社では県内の事業所で生産された乳酸菌飲料を関東へ輸送しているほか、医薬品の輸送なども行っています。倉庫業への事業拡大に併せて、本社機能も町に移転し、2019年度中の事業開始を予定しています。